

「首切り」
やめて

いま必要なのは住民のくらし・安全・雇用をまもる自治体です

誰でも時給1000円実現を!

橋下知事に
力をいれてほしい
景気回復の3つの提案

- 1 「首切り」をやめ「正社員があたりまえ大阪」をつくるために、府内の大企業に働きかけること。
- 2 中小企業が時給1000円を実現するための補助金制度をつくること。
- 3 府庁で働くパート・アルバイトなどの首切りをやめて、まず時給1000円を実現すること。



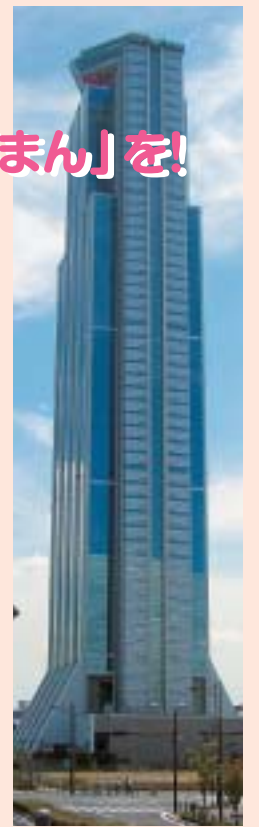
▲労働条件の改善を求めて
全国一般・アメリカンパレルのストライキ(アメリカ村)

くらしの「がまん」より

府庁移転など

大型開発の「がまん」を!

2年前に「財政非常事態宣言」で府民に「がまん」を求めてきた橋下知事。
学校警備員補助金の廃止や府営住宅減免制度の改悪、国際児童文学館の閉鎖など行いながら、箕面森町や第2名神などの大型開発をすすめています。今度は117億円かけて府庁移転のためにWTCの購入・改修を行うおつもりです。
くらし・福祉の「がまん」より大型開発の「がまん」を行うべきではないでしょうか。



安心して
住み続けるために

身近な総合病院は絶対に必要です

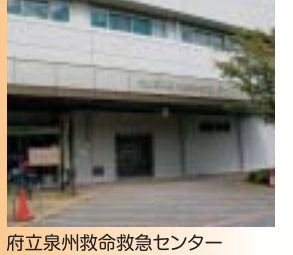


昨年7月の「泉州南部4病院を統合」という突然の報道は、地域に大きな衝撃を与えました。「私たちの身近な病院が消えてしまう!」「地域医療はどうなるの?」という住民の方々の疑問や不安をまず受け止めようと、秋には病院前などでアンケートを実施しました。多くの皆さんに快くお答えいただき、1000人以上の方から回答をいただきました。

昨年秋にはチラシも作成、「地元の病院に通院したい」などの意見が多く寄せられました

大阪府の
泉州南部4病院
統合計画に

「経営統合せず、今までどおりの運営」を 望む住民の声が70%を占める



泉州南部4病院統合問題とは
地域医療の崩壊が進行する中、国の交付金を活用して府立泉州救命救急センター(泉佐野市・30床)、市立貝塚病院(249床)、市立泉佐野病院(348床)、阪南市立病院(185床)の公立4病院を経営統合するものです。
統合したからと言って必ずしも医師確保や救急医療が拡充するわけではありません。

アンケートには「医師を確保してほしい」「病院を残してほしい」との声が多く寄せられました。80%の方が地元の市立病院で受診され、特に貝塚市では93.6%のほつてます。市立泉佐野病院には「設備が充実した大規模な病院」「医師や技術の評判がよい」との声も寄せられました。
そして70%を占める方が「経営統合せず、今まで通りの運営」を望んでいます。

住民のみなさん
いっしょに
地域医療を守る運動を
すすめます

